

2016年9月26日
損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

デリバティブ商品を対象としたブロックチェーン技術の活用を開始

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社(グループCEO:櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」)は、ソラミツ株式会社(共同最高経営責任者:岡田隆/武宮誠、以下「ソラミツ」)と、デリバティブ商品^[※1]を対象としたブロックチェーン技術^[※2]の活用に向けた取組みを2016年9月から開始しました。

1. 背景

日本は地震や台風、噴火などの自然災害が多く、これらのリスクに対して備える天候デリバティブ商品等のニーズが急速に拡大しています。また、海外の新興国においても、農業を中心に干ばつなどの自然災害リスクを抱えていることから、同様の商品を販売しています。

国内外で急拡大する市場に対し、SOMPOホールディングスはソラミツと共同で、ブロックチェーン技術を活用した利便性の高いデリバティブ商品の提供とサービスの効率化を実現するため、システム開発(β版:ユーザーへの試用提供版)を開始しました。

2. 「ブロックチェーン技術を活用したデリバティブシステム(仮称)」の概要

SOMPOホールディングスとソラミツが共同で開発する「ブロックチェーン技術を活用したデリバティブシステム(仮称)」は、ご契約内容等の情報をブロックチェーン上で同時に共有することで、デリバティブ商品のリスク集積状況の管理や補償金のお支払有無の判断、補償金のお支払い手続きまでを正確かつ迅速に行えるサービスの実現を目指します。

また、ブロックチェーン技術を活用することにより、システム投資コストを抑制しつつ高いセキュリティを確保した金融サービスの提供およびサービスの効率化につながる可能性があることから、新たな保険商品などへの活用範囲の拡大も検討していきます。

3. 今後の商品展開

SOMPOホールディングスは、ブロックチェーン技術などの最新のデジタル技術を活用することにより、お客さまの安心・安全・健康に資する商品・サービスの企画・開発を行っていきます。

[※1]デリバティブ商品:地震や台風、噴火などの自然現象により企業が被る収益減少、支出増大に対応するため、気温・降水量などのインデックスの推移や地震、噴火などのトリガーイベントの発生に応じて所定の金額をお支払いする金融派生商品。

[※2]ブロックチェーン技術:分散型台帳技術。複数拠点に分散されたコンピュータにデータを分散させながら同期させてひとつの台帳を維持する技術。

※ソラミツについて

ソラミツは、2016年2月に誕生したブロックチェーンの技術系スタートアップ企業で、アイデンティティプラットフォームの開発を行っています。また、ソラミツは、非営利団体 The Linux Foundation が設立した、世界のオープンソースプロジェクト「Hyperledger プロジェクト」にも参画し、ブロックチェーン技術の発展に貢献しています。

以上

<ブロックチェーン活用のイメージ>

